

第53回まちcomiリサーチ 『世帯収入と働くことについて』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『世帯収入と働くことについて』のアンケートを実施いたしました。

<調査概要>

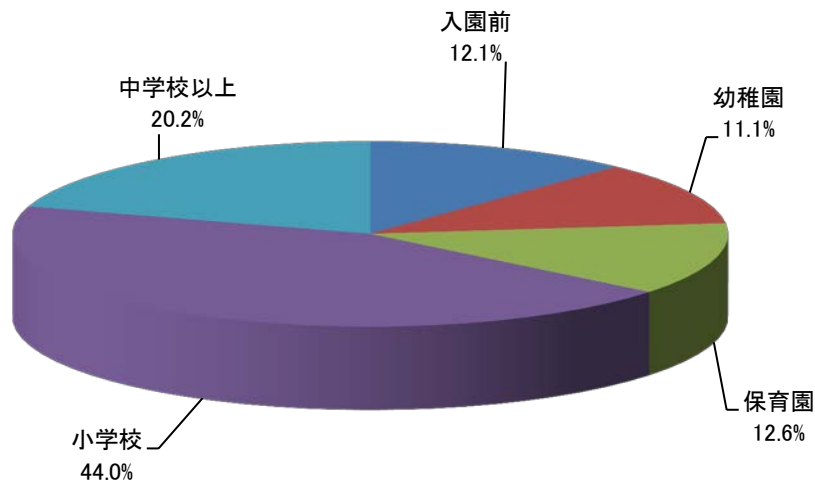
調査期間	2014年9月4日(木)～2014年9月7日(日)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	1,210,553名
有効回答数	32,221件
寄付金額	今回32,221円 寄付先:放課後NPOアフタースクール

<質問項目>

1	末子のお子さまの年齢を教えてください。
2	ご自身の年齢を教えてください。
3	現在の世帯収入に満足されていますか？
4	今後、世帯収入はどのように変わるとお考えですか？
5	ご自身が新たに働き始める、または働き方を変えることで、どのくらい世帯収入(月額)が増えると良いですか？
6	収入を増やしたい理由として、最も近いものを選んでください。
7	世帯収入を増やすために何か取り組んでいますか？
8	働く上で、パートナーの理解度はいかがですか？ (現在、働いていない場合は想定されるものをお答えください。)
9	働くことでのお子さまへの影響をどのようにお考えですか？
10	どのくらいのお仕事量であれば家族の理解を得られると思いますか？

質問1: 末子のお子さまの年齢を教えてください。

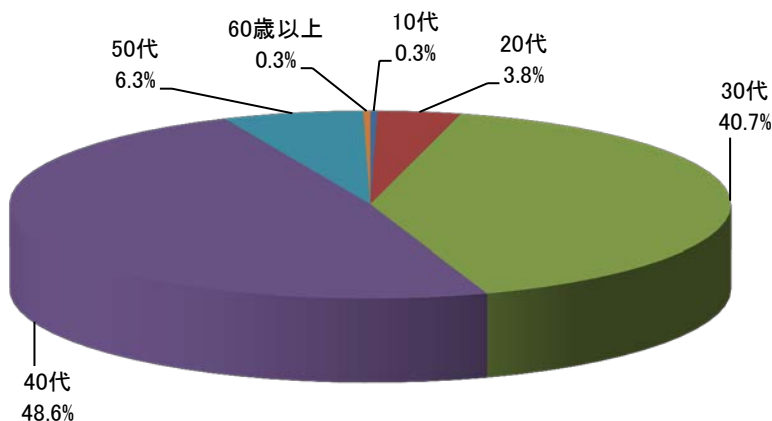
— 小学生以下のお子さまを持つお母様から多くのご回答をいただきました



小学生のお子さまを持つ方が44%、ついで、6歳以下のお子さまを持つ方が35.8%と小さいお子さまを持つ子育て期のお母様方に多くのご回答いただきました。

質問2: ご自身の年齢を教えてください。

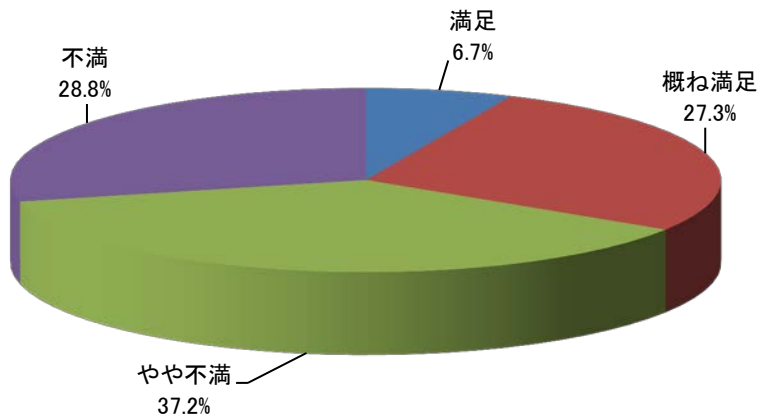
— ご回答いただいたのは、ほとんど30代、40代のお母様でした



30代、40代のお母様方に多くご回答いただきました。

質問3: 現在の世帯収入に満足されていますか？

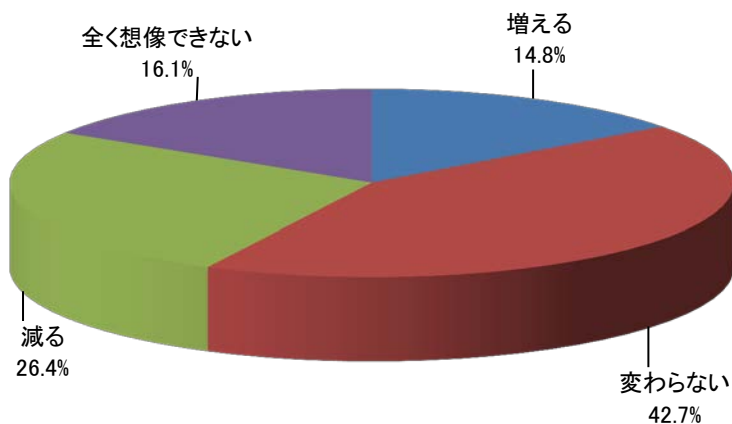
— ほとんどの方は現在の収入には満足されていないという結果になりました



7割弱の人が現在の収入に満足されていないようです。今後の見通しはどうでしょうか。

質問4: 今後、世帯収入はどのように変わるとお考えですか？

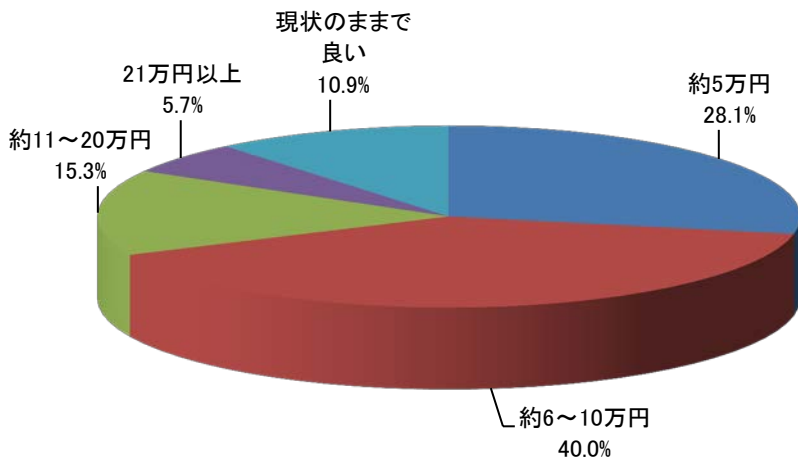
— 世帯収入に関して、先への見通しは明るくないと考えている方が多いようです



今後の見通しとして世帯収入が「変わらない」「減る」と考えている方が6割強と多い結果になりました。問3の回答では現在の世帯収入に不満な方が多いこともあり、何らかの手を打つ必要があるかも知れません。

質問5:ご自身が新たに働き始める、または働き方を変えることで、どのくらい世帯収入(月額)が増えると良いですか？

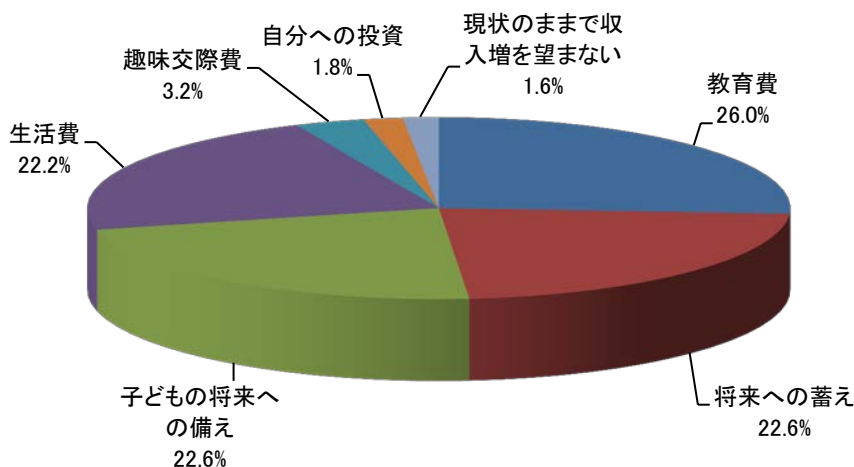
— 多くの方が10万以下との回答、使い道も慎重に考える必要があります



「約6～10万円」と回答された方が最も多い結果になりました。お子さまがいる家庭では、増えた収入はどういった目的に使われるのでしょうか。

質問6:収入を増やしたい理由として、最も近いものを選んでください。

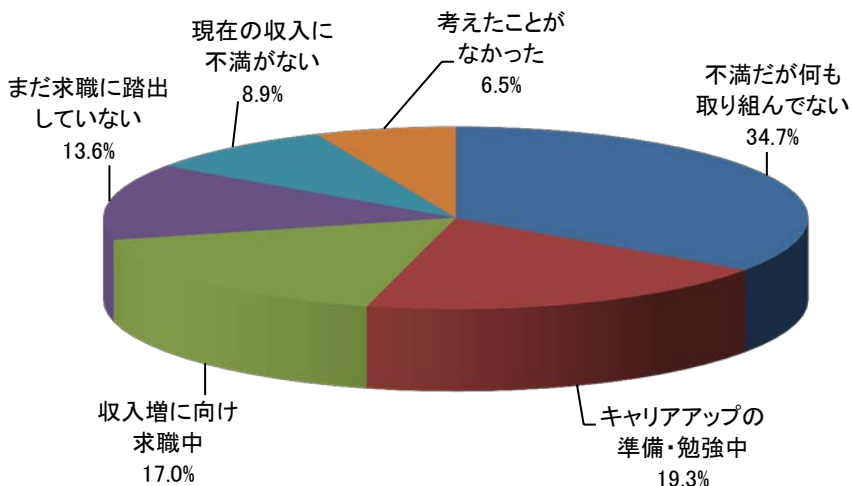
— 子育て期のご家庭ならではの回答結果となりました



「趣味交際費」が3.2%、「自分への投資」が1.8%と少ない一方で、「教育費」「子どもの将来への備え」「将来への蓄え」「生活費」等の回答が全て20%を上回りました。子育て期の関心は、「子ども」や「家庭」に向けられている様子が垣間見れます。

質問7: 世帯収入を増やすために何か取り組んでいますか？

— 最初の一步を踏み出すには何かきっかけが必要かもしれません

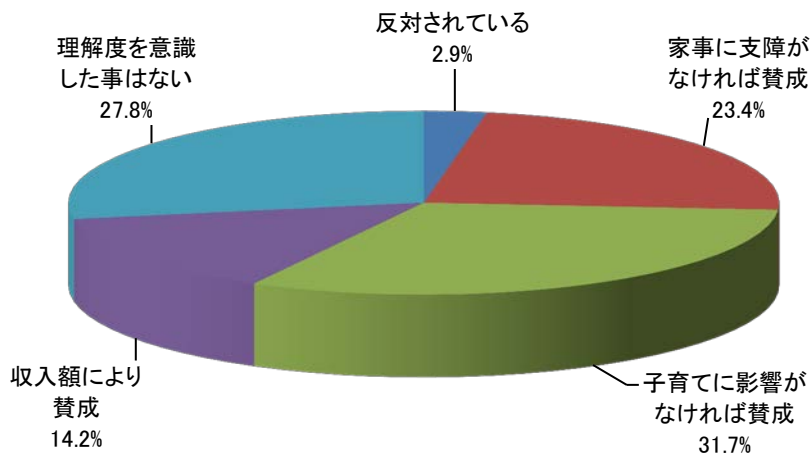


「キャリアアップの準備・勉強中」「収入増に向け求職中」が合わせて4割弱と、実際に取り組んでいらっしゃる方はそれほど多くはないようです。

国の補助が出る主婦インターンシップをきっかけに一歩を踏み出してみたいかがでしょうか？

質問8: 働く上で、パートナーの理解度はいかがですか？（現在、働いていない場合は想定されるものをお答えください。）

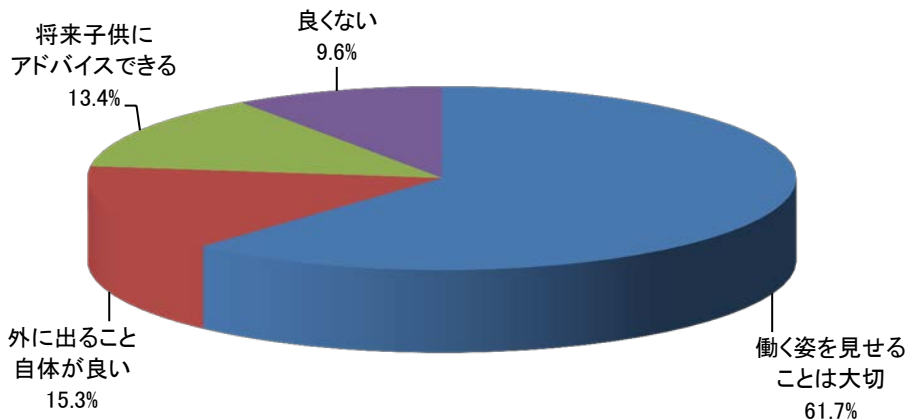
— ほとんどのパートナーの方は働くことに賛成されるようです



「子育てに影響がなければ賛成」「家事に支障がなければ賛成」に多くの回答が集まりました。家事や育児、収入面の配慮が気になりつつも、7割のパートナーが賛成(または賛成と思われる)という結果となりました。

質問9:働くことでのお子さまへの影響をどのように考えますか？

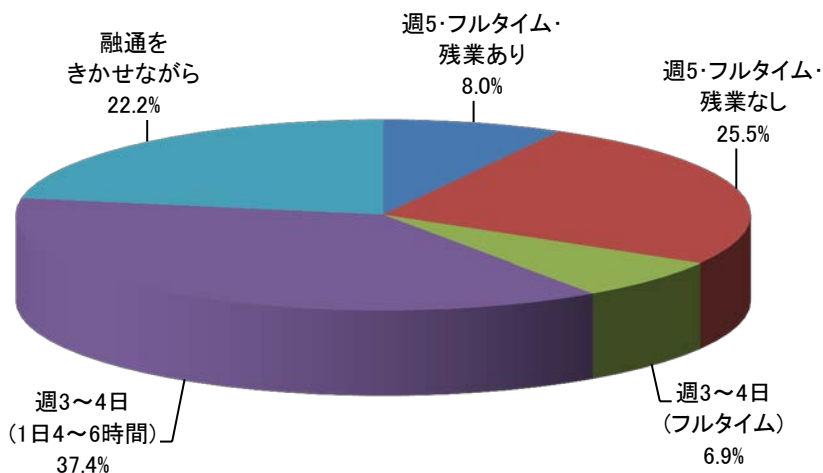
— お子さまへの影響に関して、否定的な意見はほとんどありませんでした



「働く姿を見せることは大切」が6割と多くの回答が集中しました。「良くない」と考える方は10%弱にとどまりました。

質問10:どのくらいのお仕事量であれば家族の理解を得られると思いますか？

— 仕事量をご家庭の状況により様々なようです



「週3~4日(1日4~6時間)」が4割弱と最も多い一方で、フルタイムも残業あり・なしを合わせると3割を超えます。家族の理解を得られると思われる仕事量をご家庭の状況により様々なと言う結果になりました。

～まちcomiリサーチ:寄付金報告～

まちcomiリサーチでは【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

第53回リサーチはご回答いただいた人数×1円をまちcomiから「[放課後NPOアフタースクール](#)」へ寄付します。今回は、子どもたちの放課後を安全で豊かにするプログラムを提供する「放課後NPOアフタースクール」の運営および活動にお役立ていただきます。

- 今回の寄付額: 32,221円
- 今回までの合計額: 945,580円
- 今回の寄付先: [放課後NPOアフタースクール](#)

◆ 今までに寄付をさせていただいた施設

- ・認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン事務局
- ・NPO法人 チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO) セーブ・ザ・チルドレン
- ・認定NPO法人 NPOカタリバ
- ・東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン事務局